



# 川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和5年9月29日  
富田林市立川西小学校  
TEL 24-3107  
FAX 26-2306

★児童数配布

『地域の支え』

校長 山下 文博

セミに代わり、色鮮やかな赤とんぼが校庭を飛びかっています。朝の通勤時では少し肌寒く感じるようになりました。まだ暑かった二学期はじめから、徐々に季節も移り変わってきました。一か月が過ぎ、子どもたちもすっかり日常の学校生活に戻り、毎日元気よく過ごしてくれています。

しかしながら、なかなか涼しくならず、朝の校区巡回から帰ってくると汗びっしりになっている私です。

以前にも少し触れましたが、そんな中、毎日の登下校を見守ってくださっている『見守りサポーター』の皆様方にはほんとうに感謝しかありません。

先日、あるサポーターの方とのお話の中で、「年々、此处を通る子どもが少なくなってきて…寂しいですわあ～。でも、卒業して中学校に行ってもわざわざここを通ってくれる子もいますねんっ！朝から、おばちゃんに会いたいねんって言うてくれましてん。」と嬉しそうにおしゃっておられました。

その中学生（本校の卒業生）は、朝から自分という存在を認めてくれ、必ず声をかけてくださる方がいるということ。地域の通学路に、ほんのひと時かもしれないが、自分の居場所があるということを感じているのかもしれない。そのような情景のある川西小校区に、とても嬉しい気持ちと何か誇りのようなものも感じられました。

やはり、子どもたちにとっての地域というものは大切なものあると同時に、地域の方々に支えられているということをお忘れずにいてほしいものですね。そして、いずれは自分も地域を支えるんだという想いも持ってもらえればと思いました。

その一助になるのかはわかりませんが、先日、見守りサポーターの皆様には、名札の着用をお願いさせていただきました。子どもたちも、いつも立ってくださっている方の顔はわかっているのですが、お名前がわからない。個人情報の事もありますので、できる範囲でお願いさせていただきました。

皆様快く承諾してくださり、中には、子どもたちへのメッセージも記してくださっている方もおられます。

子どもたちにも児童集会でこのことを伝えると共に、「おはようございます。」だけでなく、自分から進んで「〇〇さん、おはようございますっ！」と挨拶してもらえると嬉しいですとお願いしました。

朝夕の校区内で、素敵なコミュニケーションがもっともっと広がっていけばいいなと思います。私も率先して、地域の皆様とのつながりを大切に、日々の教育活動を推進していきたいと思えます。

